

～テレマティクス技術を活用した安全運転のサポート～

**高齢者とその家族等に安心を届ける「見守る」新自動車保険の開発について**

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、「高齢者の安全運転をサポートし、運転状況を見守る」をコンセプトとした自動車保険を共同開発し、2017年度中に販売を開始します。

昨今、高齢化の進展に伴い高齢者の重大事故が増加しているほか、高齢者単独世帯が増加傾向にあります。新自動車保険では、最新のテレマティクス技術を活用した先進的なサービスの提供により、高齢者の安全運転をサポートするとともに、離れて暮らす家族等に運転状況をお知らせし見守ることで、安心を届けます。

MS&ADインシュアランス グループは、高齢者のカーライフをサポートし、子ども世代に安心を提供することで、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

**1. 開発の背景**

自動車を取り巻く社会環境の変化の一つとして、高速道路での逆走等による高齢者の重大事故の増加が挙げられます。高齢者単独世帯も増加傾向にあり、離れて暮らす子供等が親の運転を心配し、運転状況を把握したいという声も聞かれます。当社グループが独自に実施したアンケートでも、こうした声に応える自動車保険の高齢者向けサービスに高い関心が示されています。

また、MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井ダイレクト損害保険株式会社（社長：船木 隆平）および株式会社インターリスク総研（社長：村戸 眞）は、これまでテレマティクス技術の共同研究を進めてきました。

新自動車保険では、テレマティクス技術の研究成果を取り入れ、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の2社で活用するものです。

**2. 新商品・サービスの概要****(1) 商品名**

三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保それぞれの主力商品である「GK」、「タフ」をベースに、「見守る」をコンセプトとした商品名とします。

三井住友海上 : 「GK 見守るクルマの保険」

あいおいニッセイ同和損保 : 「タフ・見守るクルマの保険」

**(2) 仕組み**

スマートフォンと運転車両に設置する専用車載器（アプリの自動起動・停止等の機能有）の活用により、運転状況のデータが当社側データサーバー等に送信されます。そのデータを活用することで、安全運転サポートや高齢者の見守り等のサービスを提供する先進的なテレマティクスサービスです。

**主な商品・サービスの仕組みのイメージ**

(3) 特長

主なサービスは以下のとおりです。この他にも高齢者の安全運転や事故発生時の対応をサポートするサービス等の開発を予定しています。

①安全運転をサポートするサービス

a. 危険運転時等注意喚起アラート

急加減速等の危険運転時や事故多発地点の接近時等に注意喚起するアラートに加え、高齢者に多い事故形態や運転行動を踏まえ、安全運転をサポートする以下のアラートを提供します。

<p><b>業界初!</b></p> <p>高速道路逆走 事故防止アラート (仮称)</p>	GPS等を活用し、実際に逆走事故が発生した高速道路のインターチェンジやサービスエリア等において逆走を検知した場合に、未然に事故を防止するため、逆走の可能性を注意喚起するアラートです。
<p><b>業界初!</b></p> <p>指定区域外走行時 通知アラート (仮称)</p>	日常的に運転する区域を超えた場合の事故発生状況を踏まえて、自宅から半径20kmを超える場合等、予め指定する区域外を走行した場合に、注意喚起するアラートです。

b. 運転診断レポート

急加減速の発生回数等の運転傾向等に加え、危険運転時の注意喚起アラートの配信状況等について、総合的な運転診断結果としてWebレポートを提供します。

②事故時の対応をサポートするサービス「事故緊急自動通報サービス(仮称)」

車両に設置した専用車載器が大きな衝撃を感知すると、自動的にコールセンターへ通知し、専任オペレータからご利用のスマートフォンに「安否確認コール」を行います。事故直後の初期対応に必要なアドバイスや、お客さま車両のレッカー搬送の手配等、事故に遭遇して不安を抱えるお客さまを迅速かつ的確にサポートします。

③家族等が安全運転を見守るサービス

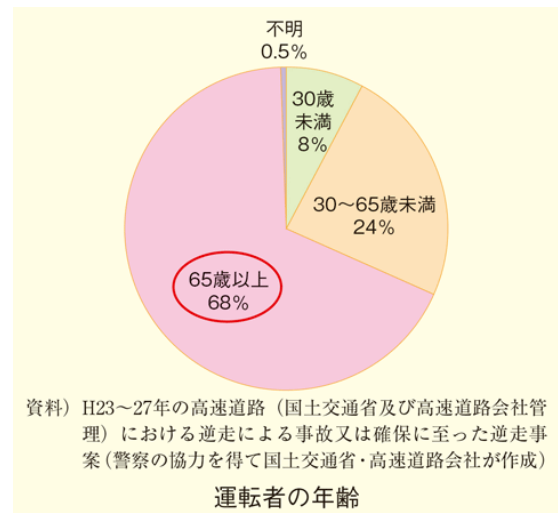
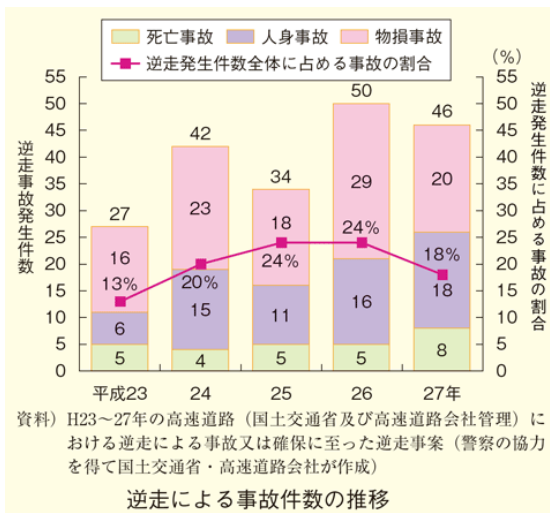
予め指定する家族等(複数人設定可)に、「高速道路逆走事故防止アラート」や「指定区域外走行時通知アラート」発信時の発生時刻・場所等に関する情報に加え、定期的に作成される運転診断レポートを自動的にスマートフォンやパソコン等へ通知・共有するサービスも提供します。

3. 今後の展開について

テレマティクス技術を活用した先進的な新商品・サービスの提供を通じて、高齢者のカーライフをサポートするとともに、安心・安全な社会の実現に貢献します。あわせて、離れて暮らす子ども世代等の家族に新たな価値を提供し、接点強化に努めていきます。

(ご参考)

<高速道路における逆走事故の状況(内閣府のホームページより)>



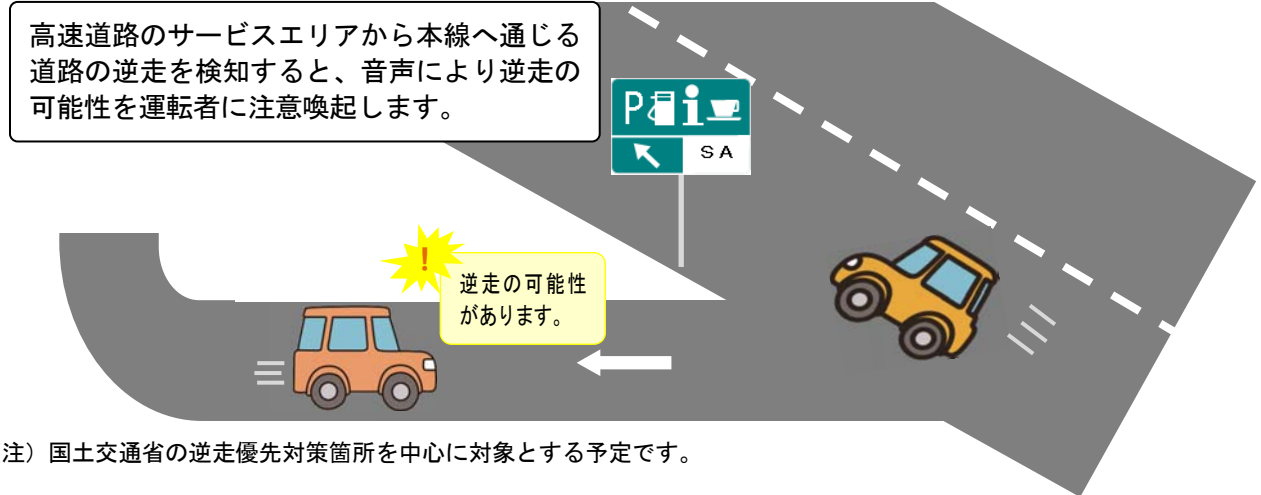
添付別紙：主なサービスのイメージ

## 主なサービスのイメージ

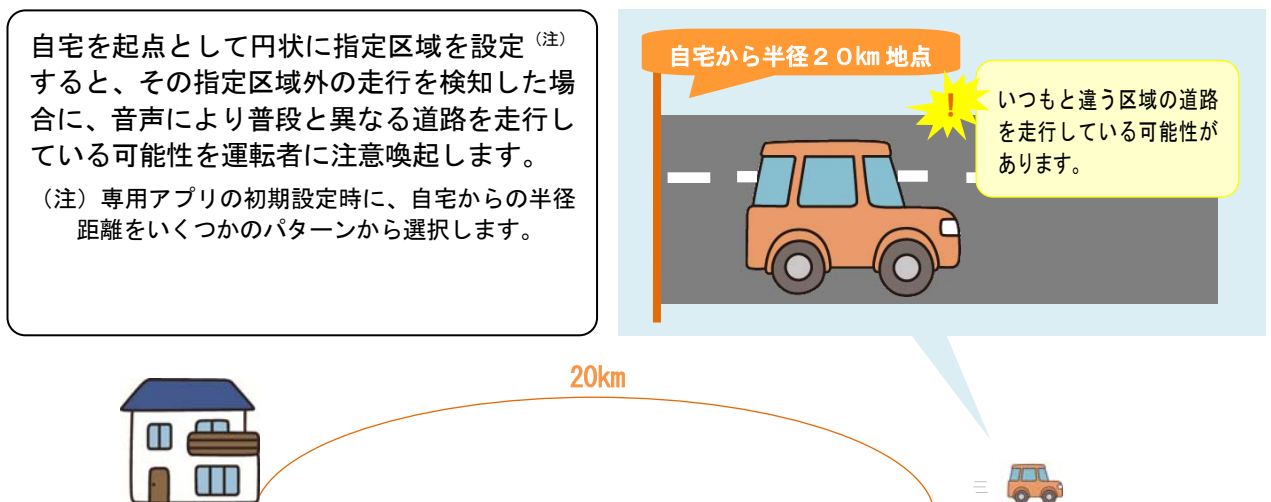
### 1. 危険運転時等注意喚起アラート

次の状況を検知した場合に、運転者に注意喚起を行います。あわせて、予め指定したご家族等に検知した状況をお知らせするメールを発信します。

#### (1) 高速道路逆走事故防止アラート<sup>(注)</sup>



#### (2) 指定区域外走行時通知アラート



### 2. 事故緊急自動通報サービス

異常な衝撃を感知すると自動的にコールセンターへ通知し、コールセンターからご利用者さまへ安否確認を行います。あわせて、レッカー手配のご相談等、事故等の際に迅速なサポートを実現します。予め指定したご家族等には、レッカー手配等の完了後にメールにて状況をご連絡します。

